



人とともに 地域とともに  
国立大学法人  
島根大学

# 島根大学 開学70周年



島根大学学術研究講演会  
エスチュアリー研究センター講演会

## 宍道湖 中海の 今を考える

2019  
**10.20** 日  
13:30-17:00

くにびきメッセ 国際会議場  
島根県松江市学園南1丁目2番1号  
TEL 0852-24-1111

定員 **300** 名  
※定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

入場  
無料

### 講演スケジュール

13:30- **開会あいさつ** 服部 泰直(島根大学長)

13:40-14:20 **宍道湖の貧酸素問題の現状と課題**  
清家 泰(島根大学エスチュアリー研究センター)

宍道湖が抱える水環境問題として貧酸素(2012に西岸で青潮の大規模発生)、アオコ(2010~2012に連続して大発生)、水草やシオグサの異常繁茂(昨年度原口氏講演)が挙げられます。今回は、青潮の発生にも関係する貧酸素問題を取り上げ、貧酸素化が水環境に及ぼす影響(ヤマトシジミへの影響等)について紹介し、その現状と課題について考えてみたいと思います。

14:20-15:00 **環境DNAが解き明かす宍道湖の生き物たちの現在と未来**

高原 輝彦(島根大学生物資源科学部生命科学科)

宍道湖を利用する生物が水中にこぼれ落とすDNA(環境DNA)を手がかりに、現在、宍道湖七珍のヤマトシジミやニホンウナギなどがどこでどのように過しているのかを紹介するとともに、それらの研究成果から、宍道湖の未来に向けてできることを一緒に考えたいと思っています。

15:00-15:20 **休憩**

15:20-16:00 **宍道湖の観測データから見た過去約10年の環境変化**

瀬戸 浩二(島根大学エスチュアリー研究センター)

宍道湖はここ10年くらいの間に様子が変わってきていることが窺えます。その間にもモニタリングやいろいろな調査・観測が行われています。そのような観測データに基づいて、宍道湖の何が違って何が変わっていないのかを検証してみましょう。

16:00-16:40 **底質から読み解く宍道湖・中海とその周辺環境-風の影響と火事の記録-**

三瓶 良和(島根大学総合理工学部地球科学科)

風は波をつくり湖底の泥を巻き上げさせます。米子湾などではこの影響が思ったより大きいことが分かってきました。また、19世紀半ば以降に始まった世界的な温暖化が宍道湖・中海周辺の森林火災などを増加させている記録も泥から読み取ることができます。

16:40-17:00 **質疑応答、閉会あいさつ**

秋重 幸邦(島根大学学術研究・イノベーション創出担当理事)

お申し込み  
お問合せ先

島根大学 企画部 地域連携・研究協力課 690-8504 松江市西川津町1060

TEL:0852-32-6056/FAX:0852-32-6488

お申し込み専用URL: <https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/academic2019>

申込期限

10月11日(金)

